

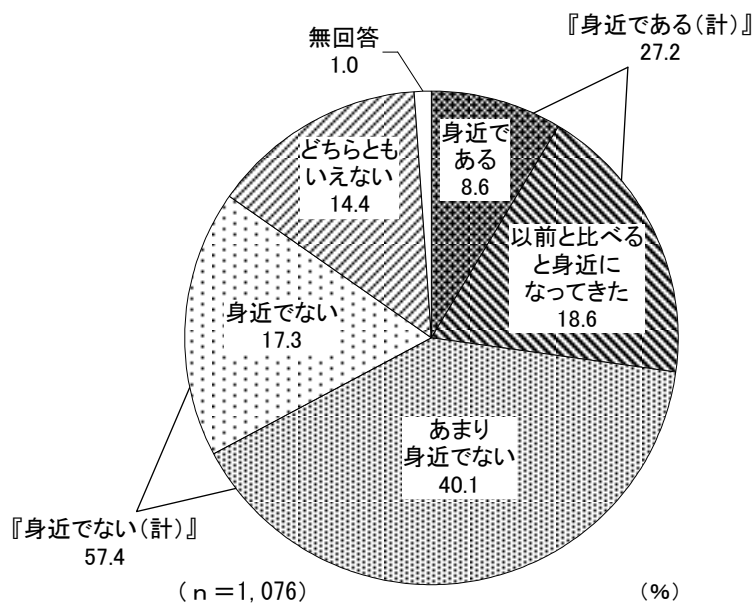
9. 未来につながる空港臨海部

(1) 空港臨海部が身近なまちとなってきたか

◇「身近である」と「以前と比べると身近になってきた」を合わせた『身近である(計)』は3割近く

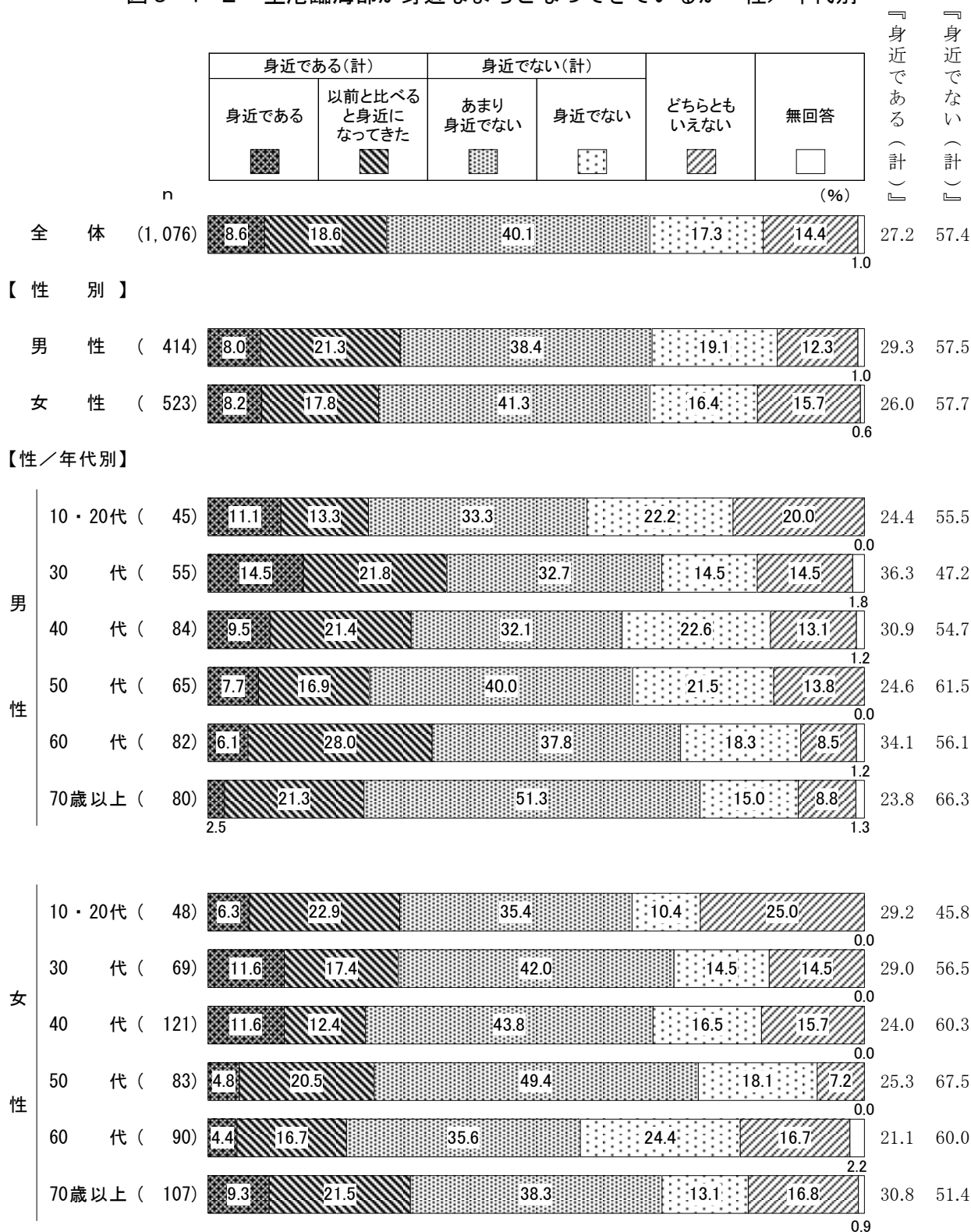
問15 埋立地の空港臨海部では羽田空港や港湾・物流施設、工場などが広がる中に、大森ふるさとの浜辺公園などの公園緑地や海辺の散策路の整備などが進められてきていますが、あなたにとって身近なまちとなってきましたか。(○は1つだけ)

図9-1-1



埋立地の空港臨海部が身近なまちとなってきたか聞いたところ、「身近である」(8.6%)と「以前と比べると身近になってきた」(18.6%)を合わせた『身近である(計)』(27.2%)は3割近くとなっている。一方、「あまり身近でない」(40.1%)と「身近でない」(17.3%)を合わせた『身近でない(計)』(57.4%)は6割近くとなっている。(図9-1-1)

図9-1-2 空港臨海部が身近なまちとなってきたかー性／年代別

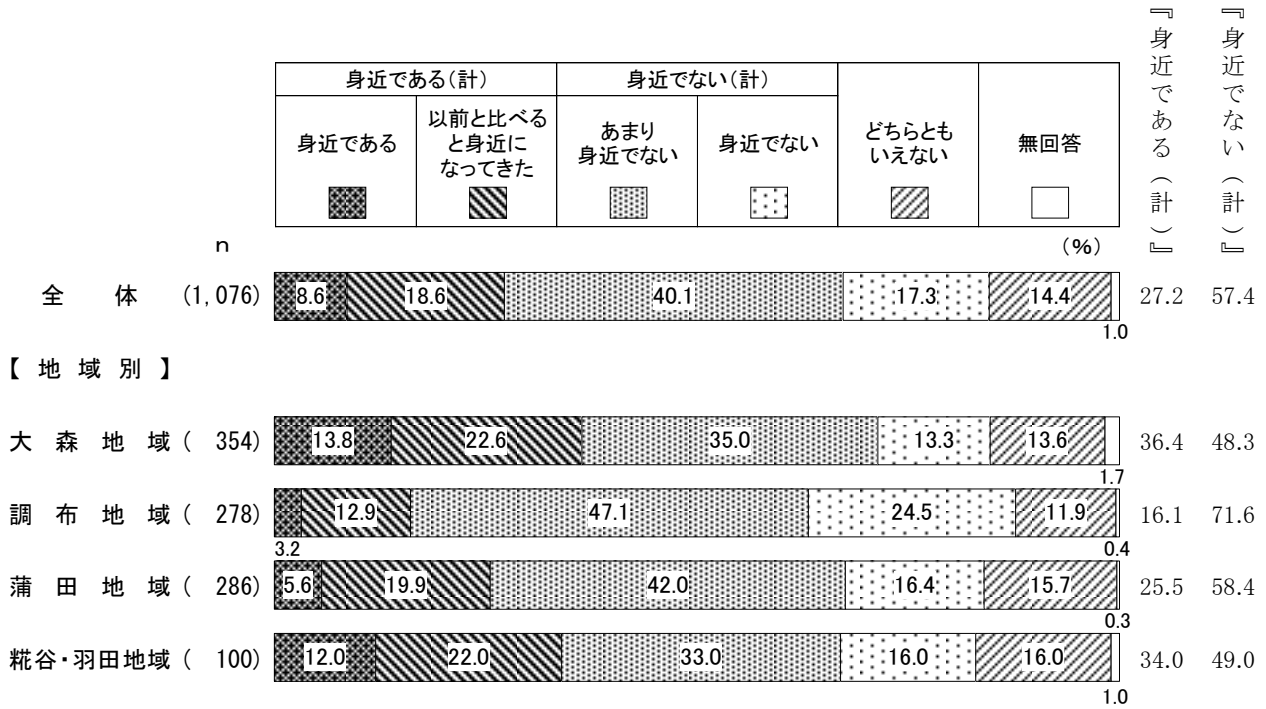


性別で見ると、『身近である(計)』は男性(29.3%)が女性(26.0%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『身近である(計)』は男性の30代(36.3%)と60代(34.1%)で3割半ばと高くなっている。一方、『身近でない(計)』は女性50代(67.5%)で7割近くと高くなっている。

(図9-1-2)

図9-1-3 空港臨海部が身近なまちとなってきているかー地域別



地域別で見ると、『身近である(計)』は大森地域(36.4%)と糀谷・羽田地域(34.0%)で3割半ばと高くなっている。一方、『身近でない(計)』は調布地域(71.6%)で7割を超え、蒲田地域(58.4%)で6割近くと高くなっている。(図9-1-3)